

安寿らぎの友

第80号

 安土町老人クラブ連合会
 広報部発行
 平成25年5月20日

就任のごあいさつ

安土町老人クラブ連合会

会長 末房 松三



新緑の候、
 会員の皆様には
 ますますご
 壮健にてお過
 ごしのことと
 お慶び申し上げ
 ます。

日ごろは、安土町老人クラブ連合会の運営全般に亘り、深いご理解のもとにご指導とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。さて、今役員の任期満了に伴ない、ご推せんを受け、去る三月の役員会に於いて、不肖私が嶋川豊嗣前会長の後任に就任させて頂くことになりました。何分浅学非才の身でありながら顧みずお引受けしたことの重責を日々感じているところでありますので、会員皆様方のご支援と、ご協力をお願い申し上げます。

さて安土町老人クラブ連合会は、先人が築きあげられ約半世紀の長きにわたる歴史を経て、誰も予測しなかった

福祉の急激な変化の中で少子高齢化時代とともに超高齢化に移行していくなか、当会の理念であります「健康・友愛・奉仕」の三大運動を始め、高齢者の交通事故防止に取り組んでいます。交通事故争ともいわれ深刻な社会問題が私たちを脅かしています。高齢者の交通事故撲滅ゼロ作戦と称し「交通事故に合わない」「交通事故を起こさない」「交通事故を起こさせない」という三つの運動を展開して明るいまちづくりの推進に努めてまいりたいと考えておりますので、更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

また地域では、援助を要する高齢者支援や子どもの見守り、高齢者の消費者被害防止など、地域の安全・安心への活動、ならびに通学途中の子どもの犯罪に巻き込まれる事件が頻発するなか、日常的な見守りは、地域での生活時間の長い高齢者の協力が犯罪の大きな抑止力になると期待されています。また地域課題として、認知症、虐待、孤立死などさまざまな課題を抱えるなかで、人間関係の希薄化、過度のブラ

イバシー尊重の弊害などによって相互に支え合う地域力が低下しているのが現状であります。そこで、高齢者の個性と能力を活かし、地域再生の先頭に立ち、或いは、側面からの協力は活性化に向けた人的資源として、魅力的な存在でもあります。各地域の老人会活動は、人と人とのネットワークと住民の参加を得て、地域と老人会が地域課題を共有し、老人会活動を通して福祉力を高め、更に地域力向上の取り組みが必要であると考えます。そういった諸課題は避けて通れない昨今の情勢でもあります。今後は、充分な検討を重ねながら関係機関のご指導とご支援をお願い申し上げますとともに、終りになりましたが、安土町老人クラブ連合会により一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。会員皆様はますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。



これからの

主な行事

6月3日(月)～4日(火)

春の旅

親不知びあパークと

弥彦神社参拝

越後の奥座敷 岩室温泉の旅

6月20日(木)

第6回ニースポーツ大会

7月中旬

友愛のつどい

(一人暮らしの方招待)

6月20日(木)

だれもができる

ニースポーツ競技大会

★ビーンボウリング

★シニアコーンホール

★マクダーツ

皆様のご参加

お待ちしております

♡♡より幸福を実感できる市政へ♡♡

近江八幡市長 富士谷 英正

安土町老人クラブ連合会会員の皆様方には日々ご壮健でご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、福祉行政はもとより市政各般にわたり、格段のご理解ご協力を賜りますこと、また、多年にわたり社会の進展に寄与されてこられた豊富な知識と様々な経験を持たれた皆様方が、崇高な志と意欲のもと地域活動にご活躍ご貢献頂きますことに対しまして心より厚くお礼申し上げます。

さて、市政にとりまして重要なことは、市民一人ひとりが「幸福である」ということを心から実感できることであり、さらなる「幸福を実感できる市政へ」と推し進めることこそが市政が果たすべき責務と考えております。

高齢者の皆様方は閉じこもりがちとならないためにも適度な運動や体調管理にも気を配られていると思いますが、こういった気配りや一層の元気が地域社会の活力源に、ひいては幸福を実感できる社会のための下支えを担うものと存じております。

つきましては、地域での高齢者の見守りや生きがい対策など、心豊かな地域社会づくりには、地域でご活躍いただいております老人クラブの皆様方のお力添えが必要であり、長年培ってられました豊富な知恵や経験に裏付けされた技能を地域社会つくりにご協力ご活躍をお願いするものでございます。

結びになりますが、今後とも会員相互の親睦・交歓の輪を広げられ、地域社会の活性化にご活躍いただきますことを期待申し上げ、ご発刊にあたり挨拶とさせていただきます。

平成25年度 新役員就任

私達はこの度の役員改選によりまして本部役員として、ご選任をいただきました。何分未熟な者ばかりですが安土町老人クラブ連合会発展に微力ではありますが頑張つてゆく所存ですので会員皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

会 長	末 房 松 三
副 会 長	坪 田 實
副 会 長	保 知 七 郎
副会長兼女性部長	木 俣 ミサ子
女性部副部長	高 谷 禮 子
女性部副部長	山 本 節 子

ご退任のご紹介

この度本年を以て長らく安土町老人クラブ連合会の発展にご献身をいただきました役員様のご退任をいただきました。本当にご苦勞様でした。今後共お躰をご自愛下さいまして当老人クラブのご指導をよろしくお願い申し上げます。

嶋 川 豊 嗣 様	東 育 子 様	村 瀬 京 子 様
-----------	---------	-----------

おめでとうございます

百歳万歳



西川 いそさん

安土町下豊浦安土の西川家の長女として生をうける。5人姉妹の長女として若い頃から野良仕事一途にがんばってこられた。

平成20年に体調をこわしショートステイにお世話になっておられます。好きな食物はと聞くとうなぎ・鯛のおつくりや、肉系が好きとのこと。野菜はあまり好きでないようです。毎日のお化粧は欠かさないそうです。

百歳とは思えない顔の色艶のいいべっぴんさんです。

近頃耳がすごく聞こえなくなったと家族の方のお話でした。写真のポーズに両手を合わせ微笑んでおられました。いつまでもお元気で!!

.....。



坪田 豊子さん

すこぶる元気な豊ばあちゃん。

元気の秘訣は、崇敬の心だと話されました。毎日、ご先祖さま、鎌若宮神社への参拝を行とされています。目も耳もよく見え聞えているとの事です。90才までゲートボールを楽しんでおられました。

家の周りの草むしりは今でもしておられます。週2回のふれあいサロンは皆出席だそうです。

毎回の選挙にも投票に行かれます。高齢者の誇りです。孫、曾孫さんにも親しまれ、ばあちゃん、ばあちゃんと気遣ってもらうのが一番の幸だそうです。戦争でご主人を亡くされた豊子さん、逆境をのり越え力強く生きてこられました。

豊子さんの温厚な人徳が健康の秘訣かな。



平成 25 年度 安土町老人クラブ連合会総会

平成 25 年度事業計画

基本方針『創造と連帯の輪を広げて 心豊かな 21 世紀を』

メインテーマをもとに活動を展開してまいります

創造 (つくりだす)

「健康な高齢者と仲間づくり」の創造

「時代に即した高齢者文化」の創造

「仲間と共に 共生 共助の地域社会とふるさと」の創造

連帯 (仲間になって 共にして何かをやる)

☆培ってきた貴重な体験、経験を共有する

☆『老人クラブ』と次世代との交流連帯

☆独居、障害、病弱、高齢者仲間への友愛連帯

☆高齢者の基本的人権の尊厳と公平

ならびに男女共同参画社会への連帯



21 世紀が私達高齢者にとって

「ゆとり」「うるおい」「やすらぎ」に満ちた

心豊かな地域社会 ふるさとづくりに

『創造と連帯』の輪を広げてまいりましょう

平成 25 年度 歳入歳出予算書

〔歳入の部〕

款 項	本 年 度 予算額 (A)	前 年 度 予算額 (B)	増 減 (A) - (B)	摘 要 (単位 円)
1. 会 費	867,000	881,000	△ 14,000	平等割 $1,000 \times 22 = 22,000$ 会員割 $500 \times 1,610 = 805,000$ 安土荘 $500 \times 80 = 40,000$
2. 補助金	1,753,000	1,884,000	△ 131,000	22 単老活動補助金 他
3. 委託金	750,000	750,000	0	やすらぎホール管理費
4. 利 子	1,000	1,000	0	
5. 事業収入	900,000	900,000	0	旅行手数料・広告掲載料
6. 雑収入	60,000	60,000	0	寄付金 他
7. 繰越金	370,000	370,000	0	
合 計	4,701,000	4,846,000	△ 145,000	

〔歳出の部〕

款 項	本 年 度 予算額 (A)	前 年 度 予算額 (B)	増 減 (A) - (B)	摘 要 (単位 円)
1. 会議費	200,000	200,000	0	会長会・各部会・三役会・監査会
2. 人件費	1,630,000	1,630,000	0	創造推進員・事務員・役務費
3. 事務費	320,000	479,000	△ 159,000	輪転機・コピー機年間リース代 他
4. 事業費	928,000	905,000	23,000	部活動費 研修費 友愛事業
5. 管理委託	750,000	750,000	0	やすらぎホール維持管理費
6. 負担金	190,000	190,000	0	県老ク連分担金
7. 補助金	483,000	492,000	△ 9,000	22 単老活動補助金 $1,610 \times 300 = 483,000$
8. 慶弔費	170,000	170,000	0	単老総会祝金 一般会員弔電代 他
9. 雑費	30,000	30,000	0	
10. 予備費	0	0	0	
合 計	4,701,000	4,846,000	△ 145,000	

平成 24 年度 歳入歳出決算書

〔歳入の部〕

款 項	本 年 度 予算額 (A)	前 年 度 予算額 (B)	増 減 (A) - (B)	摘 要 (単位 円)
1. 会 費	881,000	866,500	△ 14,500	平等割 $1,000 \times 21 = 21,000$ 会員割 $500 \times 1,611 = 805,500$ 安土荘 $500 \times 80 = 40,000$
2. 補 助 金	1,884,000	2,156,231	272,231	22 単老活動補助金 他
3. 委 託 金	750,000	750,000	0	やすらぎホール管理費
4. 利 子	1,000	247	△ 753	預金利子
5. 事業収入	900,000	1,081,100	181,100	旅行手数料・広報広告料 他
6. 雑 収 入	60,000	73,892	13,892	寄付金 他
7. 繰 越 金	370,000	370,353	353	H 23 年度より繰越金
合 計	4,846,000	5,298,323	452,323	

〔歳出の部〕

款 項	本 年 度 予算額 (A)	前 年 度 予算額 (B)	増 減 (A) - (B)	摘 要 (単位 円)
1. 会 議 費	200,000	213,022	13,022	会長会・各部会・三役会・監査会
2. 人 件 費	1,630,000	1,632,000	2,000	創造推進員・事務員・役務費
3. 事 務 費	479,000	521,943	42,943	輪転機・コピー機年間リース代 他
4. 事 業 費	905,000	903,854	△ 1,146	部活動費・研修費・友愛事業費
5. 管理委託	750,000	819,294	69,294	やすらぎホール維持管理費
6. 負 担 金	190,000	182,310	△ 7,690	県老ク連分担金
7. 補 助 金	492,000	483,300	△ 8,700	21 単老活動補助金 $1,611 \times 300 = 483,300$
8. 慶 弔 費	170,000	143,692	△ 26,308	単老総会祝金 一般会員弔電代 他
9. 雑 費	30,000	28,301	△ 1,699	
10. 予 備 費	0	0		
合 計	4,846,000	4,927,716	81,716	

【一般会計】

歳入合計 5,298,323
 歳出合計 4,927,716
 収支差額 370,607 H25 年度繰越金

平成 24 年度 特別会計決算書 (基本財産積立金)

〔歳入の部〕

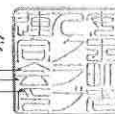
項 目	前 年 度 決 算 額	本 年 度 予 算 額	本 年 度 決 算 額	備 考
前 年 度 繰 越 金	856,605	0	856,605	定期 2 口 675,258 円 181,347 円
利 息		0	172	定期 2 口分 (3/31 満期)
H 25 年 度 繰 越 金		0	856,777	

平成 25 年度繰越金 856,777 円

平成 25 年 4 月 12 日

安土町老人クラブ連合会

会 長 末 房 松 三



会計監査報告

平成 24 年度の一般会計及び、特別会計の関係書類を
 監査の結果いずれも適正に処理されたものと認める

監 事 田 中 敏 雄

監 事 札 源 一 郎

平成 25 年度【近江八幡市安土町老人クラブ連合会】安土町下豊浦 4187-3 番地 ☎(F)46-4981

本部役員名	会 長	末房 松三	本 部 女 性 部 副 長	山本 節子	広報・教養部長	黒田 繁正	友愛活動部長	大角千代子
	副 会 長	坪田 實	顧 問	嶋川 豊嗣	社会奉仕部長	北林 豊蔵	会員数 男 683 女 901	
	シ	保知 七郎	創造推進員	森本佐市郎	交通安全推進部長	山本 光之		
	シ (女性部長兼務)	木保ミサ子	事 務 員	占部 琴代	健康推進部長	深尾 新治		
	本部女性部副部長	高谷 禮子			女性部長	木保ミサ子	計 1,584 名	

	クラブ名	会長名	住所	男	女	合計	世帯数	回覧数
東 部	福 寿 会	井 上 次 夫	上豊浦	27	49	76	62	8
	徹 ク ラ ブ	福 原 孝 三	桑実寺	5	9	14	11	1
	み の り 会	福 知 恒 夫	加 賀	44	40	84	75	8
	さざなみ会	薩 井 彰	十 六	23	28	51	40	5
	衣笠台老ク	中井浩一郎	衣笠台	17	18	35	30	4
	東 部 ブ ロ ッ ク		小 計	116	144	260	218	26
西 部	恵 寿 会	光定昭世市	常楽寺	66	98	164	113	10
	恩 寿 会	橋 博	常楽寺	48	84	132	94	7
	香 庄 老 ク	深尾元二良	香 庄	10	18	28	20	2
	慈 恩 寺 老 ク	今 西 芳 三	慈恩寺	4	10	14	11	2
	親 睦 会	深尾政雄	小 中	12	24	36	23	3
	寿 会	間宮久蔵	中 屋	21	35	56	36	5
	上 出 老 ク	川 本 弘 子	上 出	13	22	35	27	3
	ひまわり会	古 田 末 雄	四の坪	17	12	29	24	2
	長 寿 会	大 橋 保 晃	安土ニュータウン	14	13	27	25	2
	西 部 ブ ロ ッ ク		小 計	205	316	521	373	36
南 部	年 輪 会	林 孝 三	東老蘇	36	38	74	56	10
	西老蘇老ク	井上仁一郎	西老蘇	66	95	161	104	12
	徹 ク ラ ブ	山 梶 源 市 郎	石 寺	38	42	80	61	11
	内 野 老 ク	辻井伝一郎	内 野	65	91	156	97	13
	南 部 ブ ロ ッ ク		小 計	205	266	471	318	46
北 部	睦 会	猪 子 慶 一	東	36	34	70	53	6
	安 土 老 ク	平 尾 良 雄	安 土	26	39	65	36	3
	永 町 老 ク	高 谷 忠 頼	永 町	72	70	142	73	4
	明 生 会	中 村 吉 男	平 井	23	31	54	37	3
					1	1	1	
	北 部 ブ ロ ッ ク		小 計	157	175	332	200	16
【22 クラブ】 合 計				683	901	1584	1109	124

毎日を楽しく

衣笠台 寺本 輝代



私は当年八十
八才、一人暮らし
の老婆ですが、外
に真っ白で毛の
ふさふさとした

牝猫が一匹、篤姫と申し、私の大切な娘
と暮らして居ります。

毎日の生活は起床六時、篤姫が起こし
に来てくれ、布団の上で手足を動かし、
ラジオ体操をして一日が始まります。

衣笠台は新しく開拓された団地で平成
二年頃から入居が始まり、二十数年がた
ちました。大変住み心地の良い団地です。
老人会は最高の楽しい勉強の場となつて
居り、遊びながら、又ご馳走を頂きなが
らいろいろのお話から勉強させて頂ける、
私はこんな贅沢な学校であるかしら、
と感謝しながら参加させて
頂いて居ります。衣笠台の
老人会がますます発展して行
きます様、お祈りして居り
ます。



第 22 回 演 芸 大 会

日時：平成 25 年 2 月 21 日 (木)

9:00 ~ (受付 8:30)

会場：やすらぎホール



ご寄付をいただいた方 (順不同)

- | | |
|--------------|-----------|
| ☆会長 嶋川豊嗣 | ☆門前屋 |
| ☆名鉄観光サービス | ☆ふな幸 |
| ☆フレンドマート安土店 | ☆治兵衛 |
| ☆業務用食品スーパー安土 | ☆そば善 |
| ☆(株)本俣商会 | ☆丸常 |
| ☆安田健次養鶏場 | ☆めん嘉 |
| ☆いがし印刷 | ☆味筆庵 (国分) |
| ☆ホテル西ノ庄 | ☆森本芳雄 |

☆ご厚志誠にありがとうございました

第 8 回 交通事故撲滅決起集会 2013

高齢者の事故が多発しています

「もしかしたら… かもしれない」

で安全を確認しましょう



交通安全啓発訪問

1月30日(水)

石寺・東老蘇・西老蘇・内野4地区 550名

七班編成で交通安全推進部、近江八幡交通安全協会の皆様と一軒一軒交通安全ビラ・グッズを渡しながらか「交通安全にご協力」をと声かけ訪問をしました。

交通事故ゼロをめざそう!!

日 時：平成 25 年 2 月 21 日 (木)

9:00 ~ (受付 8:30)

場 所：やすらぎホール

交通事故撲滅決起集会



交通安全標語発表

各 21 クラブより 24 出題

「ベルトした？ ぼくも私もみんなした」

会場は拍手と笑いでにぎわいました。

女性部 友愛活動部合同研修会

3月4日(月)

講演「介護予防 健康づくり教室」

講師 中原今日子様(健康運動指導士)

タオルを使って誰もが出来るリハビリ体操を教えてもらいました。

自分の健康は自分が心がけ、いつまでも楽しく健康でありたいものです。

大変有意義な研修会に終わりました。

参加されたみなさんは各クラブの皆様に広めていくことを話し合っておられました。



No.3 数字パズルへの挑戦

今号の問題

			4	7	8	2		
		2	5		3	4		
		4					5	3
	8		9	4				5
	3			5	7	8	4	
	5		3	8				7
		6					3	4
		8	7		4	6		
			6	9	5	7		

挑戦頂いた“数字パズル”暇潰しに、頭の体操に、如何でしたか？ 今号では解き終るまでのタイムを競うのも又楽しいものですヨ!!

前号のこたえ

7	2	6	5	1	4	9	8	3
9	1	5	3	7	8	4	6	2
3	4	8	2	9	6	1	7	5
1	6	4	8	2	9	3	5	7
8	5	7	4	6	3	2	9	1
2	3	9	1	5	7	8	4	6
6	9	3	7	8	2	5	1	4
4	7	1	9	3	5	6	2	8
5	8	2	6	4	1	7	3	9

解き方の2大ルールは次の通りです。

1. タテ列の9マスとヨコ列の9マスに1～9の数字が1つつ入る。
2. 太い線で区切られた3×3の9つのブロックの中にも1～9の数字が1つつ入る。

文芸作品

俳句 (自由)

冠句 茶つみ

短歌 (自由)

川柳 消費税

情歌 山吹き

読み込み

上下折どちらでも可

俳句 自由

動き出す 中山道に 春立ぬ

辻井正次

はるうらら 織三観音 笑み給ふ

真葛しげ

湯に漬かる 初種目覚む 温かさ

大川 勇

春浅し 蕾の固き 沈丁花

松本久枝

公報読む ひぎの上には 和菓子あり

静きよ

何処にいた 葭切雀 顔出して

西 孫兵衛

黒髪に舞う 花びらの 桜かな

木瀬一蔵

花見酒 酔って貴女の 膝枕

木瀬一蔵

幸福は 家族みんなの 笑顔かな

木瀬一蔵

冠句 茶つみ

茶摘歌 赤のタスキに 菅の笠

辻井正次

茶つみ 遠く聞えゆる 児等の歌声

真葛しげ

茶つみする 姿は機械 娘は婆に

大川 勇

茶つみ唱 はてなき丘に 聞し過去

松本久枝

茶つみする 初夏の畑は にぎわいぬ

静きよ

茶つみ 苗たすきが 見られない

西 孫兵衛

機械で 昔の茶摘 なつかしい

木瀬一蔵

短歌 自由

ありし日に 妻が得意の 寄植の

梅花三つ四つ はごろび初む

辻井正次

咲き誇る 江藤の桜 眺めつつ

信長公の 宴楽しむ

生け垣の 茶の木が消えて ブロック塀

ミミズを捜す ニワトリ何処へ

春うらら 耳を澄ませば 溶け合つて

老梅凛と 風情を添える

山寺の 偽りのない 春の世に

六十塔の屋根に 山桜咲く

弥月 曾孫の雛に アラレ上ぐ

孫と肩寄せ しばし眺む

今日は風ぎ 西の湖畔に 鴨浮ぶ

八幡山に 夕陽沈みて

今年こそ 若き早苗を 田植して

秋の稲穂に 実る楽しみ

文芸の里の 八重なる 「御衣黄桜」

ひろぐる枝の 黄色きつぼみよ

残り世の 灯りとおもふ この集ひ

コーラスのお花見 つぎは観劇

咲き誇る 江藤の桜 眺めつつ

信長公の 宴楽しむ

生け垣の 茶の木が消えて ブロック塀

ミミズを捜す ニワトリ何処へ

春うらら 耳を澄ませば 溶け合つて

老梅凛と 風情を添える

山寺の 偽りのない 春の世に

六十塔の屋根に 山桜咲く

弥月 曾孫の雛に アラレ上ぐ

孫と肩寄せ しばし眺む

今日は風ぎ 西の湖畔に 鴨浮ぶ

八幡山に 夕陽沈みて

今年こそ 若き早苗を 田植して

秋の稲穂に 実る楽しみ

文芸の里の 八重なる 「御衣黄桜」

ひろぐる枝の 黄色きつぼみよ

川柳 消費税

信じたい 景気良くなる 消費税

辻井正次

前触れの 十パーセントに 買い占めて

大川 勇

消費税 年金暮し 泣かされる

松本久枝

消費税 画面の報に 頭いたし

静きよ

消費税 議員給与 何パーか

木瀬一蔵

買物に 安定させぬ 消費税

木瀬一蔵

情歌 山吹き

山吹きの花 実のつかぬ花

太田道灌 偲ぶ詩

辻井正次

やさしき一つ 真に受けながら

踏んだ農業は 厳しかった

大川 勇

ほろほろと散る 濃い山吹に

道灌偲ぶ 鮮やかさ

松本久枝

町家にも 山吹きの花 黄々と

静きよ

文芸作品

句歌募集します

短歌(自由) 一首

俳句(自由) 一句

川柳(ときめき) 一句

冠句(むつまじい) 一句

情歌(手のひら) 一声

読み込み
上下折
どちらでも可です。

※句歌は紙面の都合で
一人一作品でお願いします。

投句場所

老人クラブ連合会事務局

安土町下豊浦四一八七の三

投句締切日

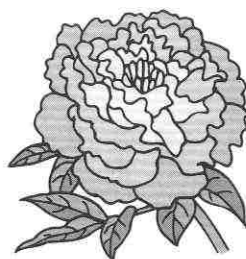
平成二十五年八月十五日

編集後記

昨年10月「全国老人クラブ」創立50周年記念大会が日比谷公会堂で執り行われました。創立時なぜ老人クラブとカタカナ名称になったのか疑問でしたが昨年、県老ク大会の講演でようやくその謎がとけました。古くは明治時代、高齢者福祉に情熱を注がれた養老院院長がイギリス(英国)に視察研修に赴

き「老人クラブ」の存在と生き活きた活動を見て日本各地の講演会等で紹介し苦難の変遷があり昭和37年「全国老人クラブ連合会」が創立されました。国も老人福祉法に老人クラブと明記され市町村にも「老人クラブ」の名称が広がった。「老人クラブ」は英国生まれ、クラブ名称の動機は日本の高齢者

福祉の原点ともなります。「やすらぎの友」も80号になりました。今後ともご支援をよろしくお願い致します。



広報編集委員

東 稗 三 保 梅
橋 知 原
育 伸 良 七 修
子 子 一 郎 身

印刷 (有)東興竹堂 (ひがし印刷)

いつでも、何歳でも……



新キャラクター「ぞう」君です。

手軽に傷害保険に加入できるのは、
老人クラブ会員の特典です。

最近、各保険会社で一般的に取り扱われている「個人契約の傷害保険」に、老人クラブ傷害保険並みの安価な保険料で新たに入ることが難しくなっています。

一方、老人クラブ傷害保険は、全国老人クラブ連合会が取りまとめ、一括して契約する「団体契約の傷害保険」のため、①比較的安全で、②年齢制限もなく、③一人でも加入できる、会員に有利な傷害保険となっています。

老人クラブ傷害保険のご案内

平成22年10月1日
始期以降改定

◆掛金(保険料)と補償額(保険金額)

2つの種類		老人クラブ活動中とその往復途上のケガを補償します。 (基本タイプ)			基本タイプに上乗せして活動中以外の日常生活全般(24時間)のケガも補償します。 (上乗せタイプ)		
年間掛金(タイプ名)		500円 タイプ	1,000円 タイプ	2,000円 タイプ	3,500円 タイプ	4,000円 タイプ	5,000円 タイプ
補償内容							
クラブ活動中のケガ	ケガによる死亡保険金額 (死亡・後遺障害保険金額の全額)	50万円	100万円	200万円	150万円	200万円	300万円
	※注1 ケガによる後遺障害保険金額	50万円	100万円	200万円	50万円	100万円	200万円
	※注2 ケガによる入院保険金日額	1,000円	2,000円	4,000円	1,750円	2,750円	4,750円
	ケガによる通院保険金日額	650円	1,300円	2,600円	1,150円	1,800円	3,100円
クラブ活動中以外のケガ	ケガによる死亡保険金額 (死亡・後遺障害保険金額の全額)	—	—	—	100万円	100万円	100万円
	※注1 ケガによる後遺障害保険金額	—	—	—	—	—	—
	※注2 ケガによる入院保険金日額	—	—	—	750円	750円	750円
	ケガによる通院保険金日額	—	—	—	500円	500円	500円